



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月3日

上場会社名 わらべや日洋株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2918 URL <http://www.warabeya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 妹川 英俊
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 森浦 正名 (TEL) 042-345-3131
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	94,250	5.2	2,763	△6.1	2,916	△6.7	1,741	4.7
25年2月期第2四半期	89,579	11.3	2,943	7.3	3,127	9.8	1,663	50.9

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 1,846百万円(11.7%) 25年2月期第2四半期 1,653百万円(53.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	98.84	—
25年2月期第2四半期	100.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	74,865	38,261	51.1
25年2月期	65,941	36,943	56.0

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 38,261百万円 25年2月期 36,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	186,000	6.3	4,000	2.1	4,200	2.1	2,200	1.7	124.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期2Q	17,625,660株	25年2月期	17,625,660株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	11,166株	25年2月期	11,026株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期2Q	17,614,547株	25年2月期2Q	16,614,868株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載いたします。

・平成25年10月8日(火)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による昨年末以降の金融緩和等の政策により、株価が上昇し、円高是正も進むなど、景気は持ち直しております。

食品業界では、消費者の低価格志向が継続する一方で、原材料価格の高騰などもあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社グループは、主要顧客であるセブン-イレブン・ジャパンの積極的な出店や、チルド商品の販売伸長などにより、売上を拡大しました。また、今後見込まれる生産量の増大に対処するため、3月には相模原工場第二（和菓子専用施設）が稼働し、名古屋工場の増改築工事も進んでおります。さらに、セブン-イレブンの四国進出に伴い、3月より新エリアである同地方への納品を開始し、12月には香川工場の稼働を予定しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は942億5千万円（前年同期比46億7千万円、5.2%増）となりました。しかしながら、利益面では米価の上昇などにより、営業利益は27億6千3百万円（前年同期比1億8千万円、6.1%減）、経常利益は29億1千6百万円（前年同期比2億1千万円、6.7%減）となりました。四半期純利益は、前年同期に計上した特別損失3億5千1百万円（倉庫閉鎖損失2億5千3百万円、固定資産売却損9千7百万円）が解消し、17億4千1百万円（前年同期比7千7百万円、4.7%増）となりました。

セグメントごとの事業概況は、以下のとおりです。

[食品関連事業]

セブン-イレブンの四国エリア進出を含む納品店舗数の増加、チルド温度帯の商品である「ロールパン」、「パスタ」などの売上が伸長したことにより、売上高は730億7千2百万円（前年同期比42億6千5百万円、6.2%増）となりました。一方、営業利益は、増収効果はあったものの、米価の上昇などにより23億2千1百万円（前年同期比5千6百万円、2.4%減）となりました。

[食材関連事業]

水産加工品や鶏加工品の取扱高が増加したことなどにより、売上高は118億7千9百万円（前年同期比1億8千万円、1.5%増）となりました。一方、営業利益は、円安の影響などにより1億5千4百万円（前年同期比2千2百万円、12.7%減）となりました。

[物流関連事業]

セブン-イレブンの店舗増加に伴う店舗配送の拡大などにより、売上高は62億7千3百万円（前年同期比3億6千5百万円、6.2%増）となりました。一方、営業利益は、増収効果はあったものの、四国地区などに新規開設した営業所の一時的費用発生や、燃料単価上昇などの影響を受け、1億1千4百万円（前年同期比3千万円、21.1%減）となりました。

[その他]

人材派遣事業において、自動車関連向けの売上が減少したことにより、売上高は30億2千5百万円（前年同期比1億3千9百万円、4.4%減）、営業利益は2億5百万円（前年同期比3千万円、13.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて89億2千3百万円増加し、748億6千5百万円となりました。これは受取手形及び売掛金、現金及び預金が増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べて76億6百万円増加し、366億3百万円となりました。これは、未払金、支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べて13億1千7百万円増加し、382億6千1百万円となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことおよび利益剰余金の配当によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ35億5千5百万円増加し、95億5千4百万円となりました。

営業活動による資金の増加は53億4千4百万円(前年同期は43億9千8百万円の増加)となりました。税金等調整前四半期純利益29億1千6百万円および減価償却費18億3千1百万円の計上によるものです。

投資活動による資金の減少は9億7千9百万円(前年同期は8億4千8百万円の減少)となりました。有形固定資産の取得による支出5億4千3百万円および関係会社出資金の払込による支出1億4千7百万円によるものです。

財務活動による資金の減少は8億3千2百万円(前年同期は14億2千5百万円の減少)となりました。長期借入金の返済による支出6億8千5百万円および配当金の支払額5億2千6百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成25年4月12日付「平成25年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表した、平成26年2月期通期の連結業績予想を、下記の通り修正します。

平成26年2月期 連結業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	188,000	4,000	4,200	2,200	124.90
今回修正予想 (B)	186,000	4,000	4,200	2,200	124.90
増減額 (B-A)	△2,000	—	—	—	
増減率 (%)	△1.1	—	—	—	
前期実績	175,048	3,918	4,114	2,162	130.11

(修正の理由)

売上高は、上期の伸び率が業績予想を下回ったため、前回予想から20億円の減額を見込んでおります。営業利益、経常利益、当期純利益については、前回予想通りとしております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,999	9,554
受取手形及び売掛金	14,339	18,964
商品及び製品	2,807	2,368
原材料及び貯蔵品	749	905
その他	2,226	2,457
貸倒引当金	△83	△108
流動資産合計	26,037	34,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,202	40,976
減価償却累計額	△23,561	△24,281
建物及び構築物(純額)	15,641	16,695
機械装置及び運搬具	15,887	16,024
減価償却累計額	△11,808	△12,003
機械装置及び運搬具(純額)	4,079	4,020
土地	12,505	12,485
建設仮勘定	987	215
その他	4,840	5,669
減価償却累計額	△2,347	△2,681
その他(純額)	2,492	2,987
有形固定資産合計	35,706	36,404
無形固定資産		
その他	503	418
無形固定資産合計	503	418
投資その他の資産		
その他	3,696	3,902
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	3,693	3,900
固定資産合計	39,904	40,722
資産合計	65,941	74,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,435	11,276
短期借入金	100	—
1年内返済予定の長期借入金	1,294	1,255
未払金	5,761	8,544
未払法人税等	747	1,309
賞与引当金	738	769
役員賞与引当金	—	72
その他	2,199	3,014
流動負債合計	19,276	26,243
固定負債		
長期借入金	4,745	4,940
退職給付引当金	1,976	1,973
資産除去債務	784	826
その他	2,213	2,621
固定負債合計	9,720	10,360
負債合計	28,997	36,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,049	8,049
資本剰余金	8,143	8,143
利益剰余金	20,802	22,014
自己株式	△16	△16
株主資本合計	36,979	38,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	79
繰延ヘッジ損益	13	3
為替換算調整勘定	△94	△13
その他の包括利益累計額合計	△35	69
純資産合計	36,943	38,261
負債純資産合計	65,941	74,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	89,579	94,250
売上原価	75,589	79,878
売上総利益	13,989	14,371
販売費及び一般管理費	11,046	11,608
営業利益	2,943	2,763
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	215	231
受取賃貸料	83	78
その他	86	91
営業外収益合計	392	407
営業外費用		
支払利息	67	57
固定資産除却損	49	78
賃貸収入原価	49	44
その他	42	73
営業外費用合計	208	254
経常利益	3,127	2,916
特別損失		
固定資産売却損	97	—
倉庫閉鎖損失	253	—
特別損失合計	351	—
税金等調整前四半期純利益	2,775	2,916
法人税、住民税及び事業税	1,176	1,338
法人税等調整額	△63	△162
法人税等合計	1,112	1,175
少数株主損益調整前四半期純利益	1,663	1,741
四半期純利益	1,663	1,741

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 8 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 8 月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,663	1,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	33
繰延ヘッジ損益	△28	△9
為替換算調整勘定	12	81
その他の包括利益合計	△9	105
四半期包括利益	1,653	1,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,653	1,846

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 8 月 31 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 8 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,775	2,916
減価償却費	1,799	1,831
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	24
賞与引当金の増減額 (△は減少)	102	31
受取利息及び受取配当金	△222	△237
支払利息	67	57
固定資産除却損	49	78
倉庫閉鎖損失	253	—
固定資産売却損益 (△は益)	97	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,322	△4,609
たな卸資産の増減額 (△は増加)	821	289
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,851	2,829
未払金の増減額 (△は減少)	826	2,000
その他	597	667
小計	5,703	5,879
利息及び配当金の受取額	222	237
利息の支払額	△68	△56
法人税等の支払額	△1,458	△716
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,398	5,344
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△569	△543
有形固定資産の売却による収入	14	—
無形固定資産の取得による支出	△22	△20
関係会社出資金の払込による支出	△255	△147
その他	△14	△266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△848	△979
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100
長期借入れによる収入	—	840
長期借入金の返済による支出	△805	△685
配当金の支払額	△331	△526
その他	△288	△359
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,425	△832
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	23
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,128	3,555
現金及び現金同等物の期首残高	1,619	5,999
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,748	9,554

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	68,806	11,699	5,907	86,414	3,165	89,579	—	89,579
セグメント間の 内部売上高または振替高	0	716	1,263	1,980	5,829	7,809	△7,809	—
計	68,806	12,416	7,170	88,394	8,994	97,388	△7,809	89,579
セグメント利益	2,377	177	144	2,699	236	2,935	7	2,943

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物流関連事業」において、閉鎖予定の倉庫について倉庫閉鎖損失253百万円（減損損失203百万円、撤去費用50百万円）を特別損失に計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	73,072	11,879	6,273	91,224	3,025	94,250	—	94,250
セグメント間の 内部売上高または振替高	0	776	1,389	2,166	7,348	9,514	△9,514	—
計	73,072	12,656	7,662	93,391	10,373	103,764	△9,514	94,250
セグメント利益	2,321	154	114	2,590	205	2,795	△32	2,763

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△32百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。